

# 事例

## 「地域と一体となった幼保小連携」

— 枚方市立蹠西小学校 —

### 1. 実践の概要

#### (1) 「地域連携に積極的な私立保育園と協力して」

蹠西小学校は昭和49年蹠小学校から分離した比較的新しい学校である。平成15年度30周年を迎えた。古くからの町並みの周りにマンションが立ち並び新旧入り混じった地域にあり、地域コミュニティの再生が学校活性化のキーポイントになる。子どもたちは1年生から6年生まで平均3クラス 約600人の児童が通う。



蹠西小学校と蹠西幼稚園は運動場を隔てて建っている。私立光善寺保育園は同じ道を5分程度歩いた所にある。地理的な条件に恵まれている上に、私立保育園も連携に大変協力的である。保育園の園長先生は以前からこの地域に住む地元の人で地域をとっても大切にしたい保育を進める一方、保護者の子育て支援にも大変熱心である。3校園で無理せず続けていけるシステム作りをめざしている。



#### H16年蹠西小学校の取組み

月	取組み	資料
5月	地域探検(幼5→保・小・中訪問) 合同観劇(保・幼5・小1, 2) 合同検診(幼4・5→小保健室)	
6月	鴨のひな観察(保・幼5→小1・2と教諭の指導を受ける) 6月1日合同避難訓練(幼4・5→小全と校長先生の話聞く) 小委員会活動発表(小保健委員会の紙芝居発表→幼・保5) 交通安全教室(保5→幼5)	
7月	保・幼・小保育士・教職員研修会(保・幼→小) 一緒に遊ぼう会(小6、20分休憩時→幼4・5)3回 合同子育て講演会(保・幼・小保護者→幼で。地域ボランティア支援)	
8月	プールで遊ぼう(幼→小プール 小教諭の指導を受ける)	
10月	<u>蹠西小秋祭り(保・幼・小・中)</u> 運動会交流(保・幼・小・中) 小学校施設見学(幼→小) <u>蹠西小区民体育祭(保・幼・小・中)</u> 小学校施設見学(保→小)	
11月	<u>光善寺秋祭り(保・幼・小・小PTA・PTAOB会他)</u>	
12月	<u>すこやかネット・ぽっかぽか祭参加(保・幼・小・中)</u> <u>蹠西校区餅つき大会(保・幼・小参加)</u> 保幼小教職員研修会、子育て講演会	
1月	一緒に遊ぼう会 <u>すこやかネット学校支援部会スキー体験(保・幼・小・中・地域参加)</u> 校庭使用マラソン(幼)、保幼小教職員講演会、就学前講演会	
2月	職業体験学習(中・小・保) 教職員交流授業(保・幼・小)	

## (2) 体験入学の1コマ

蹉跎西幼稚園の年長児26人対象の授業体験が1年生の教室で実施された。指導は現在1年生の担任と音楽専科の教員が「おんがく」を担当した。どの子どもも少し緊張気味だが、みんな手を膝の上に置いて聞く姿勢ができていた。

担任が返事の仕方を教えると、子どもたちは名前を呼ばれて元気よく手を挙げて返事をした。続いて音楽の教科書を紹介し、1年生で習う曲のCDをかけると、小さな声で口ずさむ子もいた。「犬のおまわりさん」がかかると幼稚園で習ったのか、手振りも付けて歌いだした。

続くゲームの時間では、ゲーム一つ一つに約束事を初めに伝え「約束してね」と進めていった。子どもたちはとっても楽しそうにゲームを楽しんだ。最後に「約束守れた人！」と聞くとみんな短く「はい！」と手を挙げた。

「引越しゲーム」では、恥ずかしがって参加できない子がいたり、一人で行動できない子がいたりした。このような子どもにとって小学校という新しい環境は、私たち大人が思う以上に緊張の場であることを十分に理解する必要がある。



### ■体験入学—授業のポイント■

～明るく楽しく～

- 「聞く」「活動する」やゲームなど適度に入れて楽しい展開を工夫する。
- 学習規律も最初に少しだけ教える。
- 観察者も一人決めて子どもたちの様子を観察して記録に残し、その後の指導に生かす。

## 2. 連携のポイント

- 体験入学が明るく楽しいものになるように、「音楽」で授業体験し、歌ったり、体を使って楽しんだりするように工夫している。
- 私立保育園、公立幼稚園と小学校が地域のつながりを土台にして連携している。
- 事前の打合せでは、特に配慮の必要な子どもに関する情報交換を綿密に行う。

### 私立保育園の副園長先生インタビュー

#### 子どもたちのための地域に根ざした保育園をめざした連携

地域とのつながりでは、園長がすこやかネットの役員として地域の行事のお手伝いを積極的に行っており、子どもたちは連携の一環として蹉跎中学校の体育祭の応援に行ったり、中学校で行われるすこやかネット主催の文化祭に作品を出展したりしています。

また、様々な働きかけによって保護者の中から地域のお祭りや盆踊りなどの参加も増えてきています。例えば、保育園の保護者向け「たいこ体験」に小学校からも呼びかけてもらうなどして保護者のつながりが広がりつつあります。保護者がつながると子どももつながります。

すこやかネットの行事に参加することで、現在連携をしている蹉跎西小学校以外の蹉跎中学校区の他の三校に就学する保育園の若干名の子どもも「知っている子がいる。」という安心感を持って就学できています。

子どもたちは、保育園内ではできなかったいろいろな経験をする機会を得て、顔見知りの友達ができ、小学校へ行けば顔見知りの先生や先輩がいること、学校探検等で校内の様子が少し見えたことで、「小学校へ行く楽しみ」がより大きくふくらんでいると思います。

保育士については、職員会議や職員朝礼の機会に、この連携の話や報告はしていますが、保育園という性質上、交流に関する会議や合同研修等に全職員が関われる状態ではないので、全職員で共通理解を得るにはもう少し時間がかかると思います。

